



- ・膜構造の一層の普及・発展に繋がると良いと思います。
- ・この件については、8月23日に会員向けに説明会を開催し、WEBでの聴講も含め多数の参加をいただきました。「解説書」についても、この度の改正が大幅な内容の修正となるものであることから、発行元である日本建築センターと改訂版の発行に向け準備を進めています。

---

## 【2】 第2回表彰候補募集

---

- ・第2回の表彰候補者募集を行っています。応募締切は10月末です。今年も多数の応募をお待ちします。
- ・詳しくは当協会HPをご覧ください。

[http://www.makukouzou.or.jp/paper/award/2nd-design\\_technology\\_environmental-contribution-recruitment/](http://www.makukouzou.or.jp/paper/award/2nd-design_technology_environmental-contribution-recruitment/)

---

## 【3】 膜構造ジャーナル研究論文募集

---

- ・膜構造ジャーナル2024の第2回研究論文募集を行っています。応募締切は10月末です。
- ・建築物に限らず、土木構造物などにおける膜材料や膜構造の活用も含め、多方面の研究成果の応募をお待ちしています。
- ・今回応募いただいた研究論文については、本年度中に審査を行い第1回目募集分とともに「年報」として掲載し、当協会HPで公開の予定です。
- ・なお、審査（査読）を行わない技術報告等についても応募を受け付けています。10月末までに応募申込を提出いただき、年内に原稿をお寄せください。

---

## 【4】 令和6年度通常総会を開催

---

- ・6月18日に、令和6年度通常総会を開催しました。令和5年度事業報告及び決算が承認されるとともに、任期満了に伴い新たな役員が選任されました。また、令和6年度事業計画及び収支予算の報告を行いました。
- ・この度の改選により、理事13名、監事2名のうち、3名の理事及び1名の監事は新任となりました。新しい体制のもと、引き続き当協会の着実な運営、膜材料・膜構造の普及発展に努めて参りますので、ご協力賜りますよう宜しくお願い致します。
- ・総会後には、表彰式、受賞者からのプレゼンテーション、膜構造の一層の普及に向けたシンポジウムを開催し、その後交流会を開催しました。多数の参加有り難うございました。

---

## 【5】 第1回表彰式・受賞者プレゼンテーション

---

- ・総会後に行った表彰式において、膜構造デザイン賞3件、技術賞1件及び環境貢献賞1件を表彰しました。
- ・昨年8月から10月に募集を行い、応募のあった作品等から当協会内に設けた表彰委員会における審査を経て受賞者が決定されたものですが、多数の応募をいただき有り難うございました。心より感謝申し上げます。
- ・第1回表彰については、次のページをご覧ください。

[http://www.makukouzou.or.jp/paper/award/1st-design\\_technology\\_environmental-contribution/](http://www.makukouzou.or.jp/paper/award/1st-design_technology_environmental-contribution/)

---

## 【6】 会員からの情報・各地の話題

---

・このほど竣工した株式会社ダスキンくりはら（本社：埼玉県比企郡、代表取締役：栗原 一博）本社新社屋の大型壁面に、高透明で軽いETFEフィルムを導入しました。ETFEフィルムが大型壁面において、全面的に窓や壁として使用された事例はなく、国内では初めての事例となります。

当社では今後、本事例をモデルに、ETFEフィルムの新たな活用方法として積極的に採用を提案していく計画です。なお、新社屋の屋根にはPTFEガラス繊維膜材を使用しており、正面からは透光性があり、屋根からは柔らかな光が注ぐ空間を作り出しています

（情報提供：太陽工業株式会社）

<https://www.taiyokogyo.co.jp/news/64905/>

・様々な活用を想定し、サスティナブルな小屋を目指して6つの組織、企業と協業で開発した「ヒュッテント」。登山の避難小屋や森林整備の拠点として設計され、膜構造による機能性と意匠性の実現と、地産材を活用し環境に配慮した木の循環によるサスティナブルな小屋を実現しています。構造の建築資材に軽量の木材を使用することで、生産と運搬におけるCO2排出を抑制。膜で覆うことで、木材のみに比べて耐久性も向上しています。山小屋以外にもアイデア次第で様々な活用ができるプロダクトであり、学生とワークショップを開催し様々なアイデアを集めるなど、多くの可能性を秘めた製品となっています。

（情報提供：山口産業株式会社）

【ヒュッテント特設ページ】 <https://huttent.jimdofree.com/>

---

## 【7】 協会からのお知らせ

---

・11月6日（水）に、設計者・自治体担当者等むけの施設見学会・講習会を開催します。今年は、東京オリンピックの会場となったスポーツ施設における膜構造の活用をはじめ、東京臨海部における話題の施設を見学先に選んで開催します。10月初旬に募集案内を行います。日本建築士事務所協会からもご案内いただく予定です。多くの皆さまに興味を持っていただき、多数参加いただけると幸いです。

・定期点検者講習の日程が決まりました。令和6年11月12日（火）となります。近々に募集を開始しますので、詳しくは募集案内をご覧ください。

・膜施工管理技術者講習は、来年2月頃の実施に向け準備を進めます。詳細が決まり次第ご案内致します。

---

## 【8】 その他

---

・このメールニュースは、膜協会員の皆様、膜協の事業のご案内先としてご登録いただいた皆様などにお送りしています。社内などでご興味のある方にも転送いただければ幸いです。

・転送でご覧いただいた方で、直接配信をご希望の方は事務局へご連絡ください。

・なお、今後受取りをご希望されない場合は、事務局までご連絡ください。

([info@makukouzou.or.jp](mailto:info@makukouzou.or.jp))

・「会員からの情報・各地の話題」では、会員からの投稿により各地の膜構造や膜材料にかかる話題などを紹介しています。皆様から情報をお寄せいただきますようお願い致します。

---

一般社団法人 日本膜構造協会 事務局

〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル

Tel 03-6262-8911 Fax 03-6262-8915